

都心の水辺で水上さんぽ

日本シティサップ協会 代表 奥谷 崇

1. はじめに

我々「日本シティサップ協会」は、今世界的に注目のウォータースポーツ「スタンドアップパドルボード（StandUpPaddleBOARD / 通称 SUP：サップと呼ぶ）」を使って、普段見慣れた街の景色を水上から眺め発見するアクティビティを広く一般に提案しています。大きなボードの上に立ってパドルで漕ぎ進むスタイルはエクササイズにも効果的で、我々はそんなスタイルを「水上さんぽ®」と表現し、日々活動しています。



写真：「大阪市内最古の橋 本町橋にて」

2. 活動の目的

都市河川や運河などいわゆる「まちなか水辺」、実は、世界各地で活躍のバリバリのウォーターマン達も「ホントここ凄いね！」と賞賛するフィールド。一般的には「汚い・臭い・危ない」といったイメージでしょう。でも、このところはちょっと違います。官民協力で環境への取り組みもあり、誰もが楽しめる安全で快適な水辺に変わろうとしています。そんな遊び場が私たちの住むすぐそこに存在することをもっと多くの人に知ってもらい、もっとみんなで有効に活用できたらどんなに素敵なことか…との思いから団体を立ち上げました。みなさん、まちなか水辺をあらためて眺めて見て下さい。必ずやステキな発見があるはずですから。



写真：「inochi フェスタ 水上パレードの様子」

3. 水上さんぽ体験会と教室

より多くの人に水上さんぽの楽しさを知ってもらうため、定期的に体験会と教室を開催しています。体験会は毎月第3土曜日、都市部では珍しい素足で歩ける人工ビーチ「大阪ふれあいの水辺」を活用し開催しています。まったくの初めての方でも安心して参加していただけるプログラムにしていますので、大人の方はもちろん、小さなお子様を持ったご家族もみなさんで賑やかに参加して下さいます。



写真：「水上さんぽ体験会の様子」

水上さんぽ教室は、ほぼ毎日、毎朝開催しています（7時と8時半から約1時間）。早朝に開校する理由は、船舶の往来が少ないからです。我々のような人力ボートが一番苦手とするのは船舶の航走波（引き波）のため、その影響がもっとも少ない時間帯を活用し開催しています。早朝と言うこともあり、受講者の中には、会社の出勤前といった方もいらっしゃいます。



写真：「水上さんぽ教室の様子」

通常、水遊び事業は、人が集まる週末や夏場だけ開催することが多いのですが、我々は、非日常のアクティビティを日常的なものにしたいとの思いから、年間を通しほぼ毎日開催しています。その甲斐あって、参加者が減少する冬場でも月に100

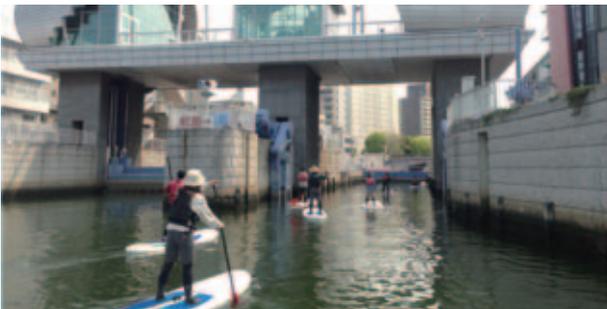
名ほどの方が参加下さっています。また、普段の生活圏という近さもあり、リピートされる方も大勢いることに本当に嬉しく思っております。



写真：「毎年恒例新年初漕ぎの様子」

4. 水上さんぽツアー

教室等で経験を積まれた方には、水上からまちなかを巡るツアーもご提案しています。まちなかに点在する様々な歴史を持った建物や橋などを、インストラクターが案内するガイド付きツアーです。いくつか用意しているメニューの中で一番の人気コースは、大阪市内を4時間かけてぐるっと一周する「水の都回廊ツアー」です。これは、市内を流れる大川→堂島川→安治川→土佐堀川→木津川→道頓堀川→東横堀川→土佐堀川→大川の約11kmを周遊するツアーで、水都大阪のシンボル“中之島”や、水位高を調整する水門“閘門(こうもん)」、世界中から観光客が押し寄せるグリコポーズで有名な“道頓堀川”なども漕行しますので、ご参加のみなさまには大変喜ばれています。



写真：「毎年恒例新年初漕ぎの様子」

2015年から、長さ約5m×幅1.5mのワンボックスカー並みの超大型サイズのメガSUPボードも導入しました。このボードであれば落水する可能性はほぼありませんので、これまで安全上お断りしていた経験の少ない方もツアーに参加していただけるようになりました。お友達、職場の同僚、ご家族など、ひとつのボードに乗って一緒に楽しむので、こちらは大変好評です。先日は、およそ40名ほどの団体参加もありました。



写真：「水の都回廊ツアーの様子」

5. インストラクターの育成

お陰さまでこのところは知名度も上がり、参加者も増えてきたことで、現在、協会として力を入れていることは、安全に普及するためのインストラクター（水上さんぽ普及指導員）の育成です。約8時間の講習会で、リーダーとして身に付けなくてはならない技術と知識を学びます。その後、各地で体験会や教室を開催して頂いていますが、ただ、受講にあたっての参加前条件としてSUP経験が必要なため、インストラクターはまだまだ少数です。この講習会も年間を通し開校していきたいと思っております。



写真：「インストラクター講習会の様子」

6. 今後の展開

2009年、大阪の中心地で繰り広げられた官民あがりの水辺イベント“水都大阪2009”からスタートした我々の活動。その後、毎年1,000人以上の方をご指導させて頂くなかで、水都大阪以外の水辺でも水上さんぽを楽しむ方が確実に増えていることを実感しています。これを単にブームで終わらせないため、誰もが手軽に安全に楽しめる水上さんぽを、一人でも多くの方に伝えていけたら…と願っております。



写真：「水上さんぽ大会の様子」

具体的には、全国各地のまちなかを流れる河川や運河を視察し、可能であれば開拓し、そして、安全に普及していくための人材を育成する…です。まだまだやらなくてはいけないことだらけですが、「水上さんぽの輪」を広げるため、これからも活動を続けます。よろしく願いいたします！

<<日本シティサップ協会>>

〒 540-0031

大阪府中央区北浜東 1-2 川の駅はちけんや内

TEL：06-6125-0550・FAX：06-6125-0770

WEB：http://www.citysup.jp

Facebook：https://www.facebook.com/CitySUP/

MAIL：mail@citysup.jp

代表：奥谷崇